別紙２

異文化理解促進プログラム協力講師　自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：川辺亮
職業：大学教員
所属：県立広島大学生物資源科学部地域資源開発学科
専門分野：農業経済学・地域活性化・食文化・商品開発等
日本語レベル：ネイティブ
英語レベル：日常会話程度

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：
アメリカ（フロリダ）の大学で２年ほど過ごしました　専攻は Art でした
その他、イタリア北部へスローフード調査、タイ王国バンコクへ食関連の市場調査などを行ないました

広島の児童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：
外国と日本の文化の違い、特に当方の研究分野に関連することとしては、食文化が国や地域によって多様であること、それぞれの国・地域によって多様な食文化やそこに賦存する魅力があることを学んでいただき、『GLOCAL（Global＆Local）』な目線で、広い視野のもとに地域を見つめる視点を持ってもらいたいと考えています

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

農業経済学を専門分野として、日本の地域活性化や食文化研究を行なってきました　現在は県立広島大学において「国際異文化農業体験研修」を担当し、日本と海外の食文化を比較研究しています 上記にあるようにバンコクの食嗜好調査（日本食文化への意識等）やイタリア北部のスローフード調査などを行ない日本の食文化の視点で海外の食文化を見つめてきました 特定の国・地域に精通しているわけではありませんが、これまで日本各地の食文化についての研究を地域活性化の視点で行なってきたことに加え、上記「国際異文化農業体験研修」の担当になったことから、視察・交流先のベトナムほか海外の食文化について学生と研究していることから、日本と外国の食文化の違いなどのお話はできると思います そのような視点で講義する機会があればご相談いただければと存じます また、今回の赴任をきっかけに県内をまわりそれぞれの地域食文化等の調査などをしたいと考えており、今回の講師活動がそのようなきっかけになればと願っています